

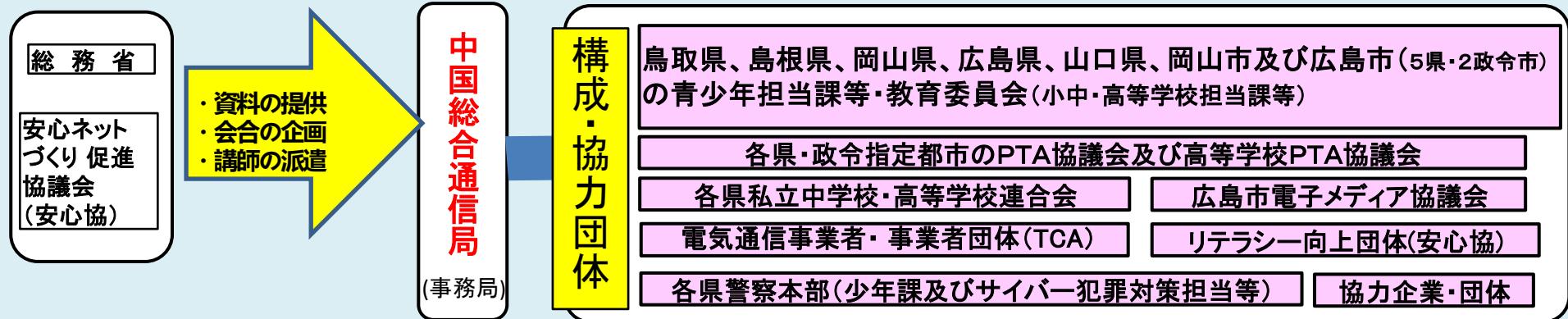
第4章 ICTの適正利用

担当:情報通信部

青少年のスマホの適正利用に向けた取組

- 小中高生が新しくスマホ・携帯をもつ機会となることが多い新入学の春を中心に、「春のあんしんネット・新学期一斉行動」として、情報リテラシーの向上やフィルタリングの推進についての集中的な啓発活動を実施。
- また、「スマートフォン時代に対応した青少年のインターネット利用に関する中国連絡会」（略称：スマホ連絡会（中国））を設置し、「春のあんしんネット・新学期一斉行動」を連携して実施。
- そのほか、官民連携プロジェクト「デジタル・ポジティブ・アクション（DPA）」を令和7年1月に始動し、偽・誤情報対策をはじめとする幅広い世代のICTリテラシー向上に関する周知啓発活動を実施。

「スマートフォン時代に対応した青少年のインターネット利用に関する中国連絡会」（平成27年2月設置）



取組事例

- ・「青少年の情報リテラシー向上促進セミナー」（年2回）の開催
- ・出前講座（e-ネットキャラバン）を通年実施（保護者、教職員、小中高生対象）
- ・「情報通信の安心安全な利用のための標語」募集による啓発活動の実施
- ・「春のあんしんネット・新学期一斉行動」を実施
- ・ILASテスト（高校1年生を対象に青少年のインターネットリテラシーを測るテスト）を実施
- ・メールマガジン（スマホ連絡会ニュース）の配信



セミナーの様子

春のあんしんネット・新学期一斉行動

- 小中高生が新しくスマホ・携帯をもつ機会となることが多い新入学の春を中心に、「春のあんしんネット・新学期一斉行動」として、効果的なフィルタリング等の利用や話し合いによる家庭内ルールづくりを含むペアレンタルコントロールによる対応の推進、インターネットを適切に活用するためのリテラシー向上推進に資する集中的な啓発活動を平成26年4月から実施。

主な取組事例

- ① 入学説明会や新学期に合わせて、児童、生徒、保護者等に向け、総務省の青少年関連施策の説明やリーフレット配布
- ② 市役所等において総務省が作成した「インターネットトラブル事例集」のパネル展示
- ③ 県庁、市役所等の電光掲示板やモニター等においてメッセージや周知・啓発コンテンツの表示・放映
- ④ CATV各局及びコミュニティFM各局において周知・啓発コンテンツを放送
- ⑤ スポーツチームの試合会場において周知・啓発コンテンツを放映



① 学校における説明会



② 自治体サイネージでの啓発動画上映

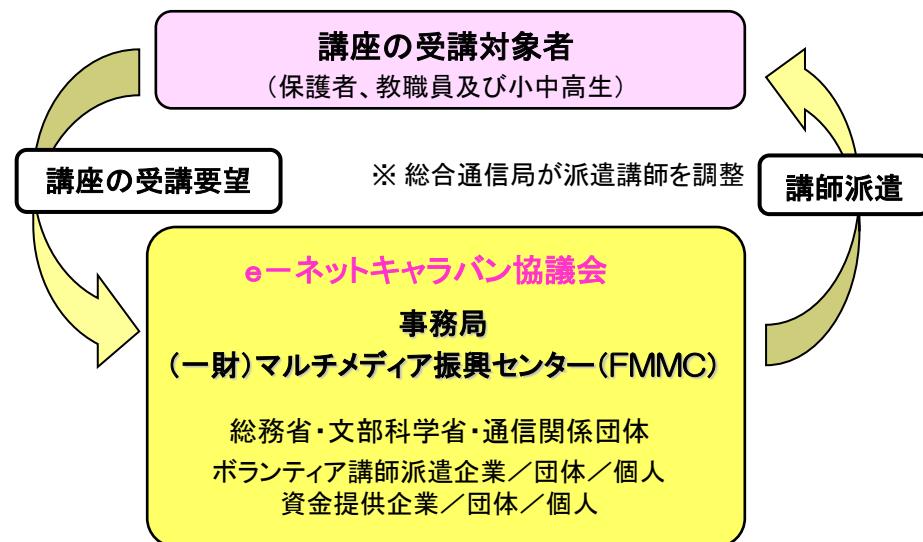


③ マツダスタジアムでの啓発動画上映

e-ネットキャラバンの推進

- 子どもたちのインターネットの安全な利用に係る普及啓発を目的に、総務省・文部科学省や業界団体の共催で、保護者・教職員及び小中高生向けに全国規模で講師を派遣する出前講座「e-ネット安心講座」を実施。中国管内では、令和6年度に81回実施。
- 講座内容は、ネット依存、ネットいじめ、不確かな情報の拡散、誘い出し・なりすまし、個人情報、ネット詐欺、著作権・肖像権の7つの項目の説明を実施していたが、令和7年10月1日より新講座に移行し、小学3、4年生向けは、ネットのいじめ、誘い出し・なりすまし、ネット上の偽・誤情報の3項目、小学5、6年生向けは、ネットへの投稿、ネットの使い過ぎ、ネット上の偽・誤情報の3項目、中学生、高校生向けは、ネットへの投稿、ネットの使い過ぎ、ネット上の偽・誤情報、ネットの特性の4項目について説明を実施。
- 講座の方式は、講師派遣型に加えて、オンライン方式、ビデオオンデマンド方式も拡充されてきたが、新講座以降に伴い、児童・生徒向けは講師派遣型のみ、保護者・教職員向けは講師派遣型及びビデオオンデマンド方式のみ実施。
- e-ネット安心講座での講師の派遣に伴う謝金や交通費は不要。

推進体制



年度別実施状況

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
鳥取県	4	2	6	0	4	0	1	1
島根県	34	27	30	14	28	18	31	18
岡山県	27	33	41	25	23	21	21	16
広島県	20	25	39	36	45	28	25	40
山口県	5	14	19	2	12	8	11	6
中国地方	90	101	135	77	112	75	89	81
全国	2,308	2,529	2,660	1,208	2,559	2,226	2,166	2,167

※鳥取県は独自の取組(デジタル・シティズンシップエデュケーター講師派遣)を実施中。

消費者支援の取組

- 中国総合通信局では、電気通信事業分野の消費者保護の推進を目的として、平成21年から、電気通信事業者、管内の5県2市の消費生活相談機関等で構成する中国地方電気通信消費者支援連絡会を年2回開催し、消費者関係施策や契約トラブル事案等に関する情報交換を実施。

【中国地方電気通信消費者支援連絡会の開催状況】

会議	主な議事内容
第30回 R6. 2. 9	<ul style="list-style-type: none"> ○意見交換 テーマ:販売代理店の勧誘に関する課題について ○関係機関の消費者保護の取組及び相談事例 不適切な勧誘行為による契約、代理店による強引な勧誘 等
第31回 R6. 9. 24	<ul style="list-style-type: none"> ○意見交換 テーマ:オンライン(WEB)での通信サービスの契約に関する課題について ○関係機関の消費者保護の取組及び相談事例 家電量販店での通信回線の乗換勧誘、スマートフォンの複数契約 等
第32回 R7. 3. 7	<ul style="list-style-type: none"> ○意見交換 テーマ:電話勧誘に関する課題について ○関係機関の消費者保護の取組及び相談事例 不実告知による光回線契約の勧誘行為、解約方法 等
第33回 R7. 9. 30	<ul style="list-style-type: none"> ○意見交換 テーマ:特に配慮が必要と考えられる利用者に対する通信サービスの勧誘及び説明に関する課題について ○関係機関の消費者保護の取組及び相談事例 特に配慮が必要と考えられる利用者に対する説明、自己の名称等を告げずに勧誘する行為等

【構成員】

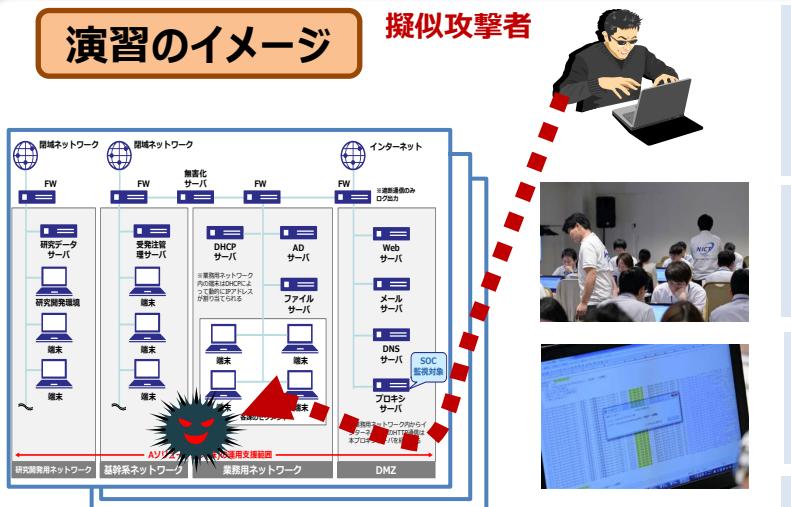
座長、消費者団体、消費生活センター、通信事業者、事業者団体、中国総合通信局

情報セキュリティ人材の育成

【実践的サイバー防御演習(CYDER: CYber Defense Exercise with Recurrence)】

○ 政府のサイバーセキュリティ戦略及び情報通信研究機構法改正に基づき、国の行政機関、地方公共団体、重要インフラ等を対象として、NICTが有するサイバーセキュリティの技術的知見及び大規模計算機環境を最大限に活かした実践的な演習。NICTが主体となって実施。

演習のイメージ



擬似攻撃者

企業・自治体の
社内LANや端末
を再現した環境
で演習を実施

受講チームごとに
独立した演習
環境を構築

演習模様
専門指導員
による補助

本番同様のデータ
を使用した演習

演習の特徴

- NICT北陸StarBED技術センターに設置された大規模高性能サーバ群を活用し、仮想ネットワーク環境として演習環境を構築。
- 我が国固有のサイバー攻撃事例を徹底分析し、最新の演習シナリオを用意。
- 集合演習で実施する初心者向けのAコース、中級者向けのBコース及び準上級者向けのCコース、並びに、オンライン演習による独習型のプレCYDERコースを用意。レベルや対象組織、受講目的に合わせてコースを選ぶことが可能であり、プレCYDERについては、全ての情報システム担当者が、毎年度受講することにより知識を最新化することが望ましい。

演習の概要

- 受講者は組織の情報システム担当職員として演習に参加し、組織のLAN環境を模擬した環境で標的型攻撃によるインシデントの検知から対応、回復まで一連の流れを体験しながら学ぶ。

【自治体等を対象としたサイバー防御演習の実施】

- 総務省が中央省庁等の組織向けにH25年度から実施していたサイバー防御演習(CYDER)のノウハウを活かし、H28年度からNICTを実施主体として、自治体等向けの演習を開催し、インシデント(事案)対処能力の向上に寄与。
- 演習では、情報流出事案が発生した際に、組織の情報担当として取るべき対応についての一連の流れを、実際にPCを使いながら体験・体得する。
- 受講料について、国の機関等は無料。地方公共団体はAコース及びプレCYDERについては無料(Bコース、Cコースは有料)。それ以外の法人・団体等に所属されている方は有料。※年度内に、複数コースを受講する場合有料となる組合せがあります。詳しくはWebサイトでご確認ください。
- 開催状況

R4年度: 全都道府県で集合演習を計105回(A 69回、B-1 20回、B-2 13回、C 3回)開催し、3,327名が参加。オンラインは、705名が参加。
中国管内では、倉吉市、出雲市、岡山市、広島市(2回)、山口市で集合演習(Aコース)を計6回開催し、150名が参加。

R5年度: 全都道府県で集合演習を計110回(A 71回、B-1 22回、B-2 13回、C 4回)開催し、3,742名が参加。オンラインは、1,963名が参加。
中国管内では、倉吉市、出雲市、岡山市、広島市、山口市で集合演習(Aコース)を計5回開催し、142名が参加。

R6年度: 全都道府県で集合演習を計106回(A 69回、B-1 19回、B-2 13回、C 5回)開催し、4,225名が参加。オンラインは、4,058名が参加。
中国管内では、倉吉市、出雲市、岡山市、広島市、山口市で集合演習(Aコース)を計5回開催し、171名が参加。